

第2回 人と環境にやさしい栽培方法で育てられた安全安心な農作物

つるおかオーガニックフェスタ

取扱農産物・加工品：米、枝豆、黒豆、もち、麦茶、あられ、きな粉、漬物等
【いずれも有機・特別栽培認証または同等の基準で栽培された農産物です。】 **入場無料**

9月8日
会場/出羽庄内国際村ホール
午前11時～午後2時



ご来場のみなさまに
枝豆などの「おたのしみ野菜」プレゼント!!
(ただし、先着順で数に限りがございます。)

有機米おにぎり を準備してご来場をお待ちしております。
(先着順で数に限りがございます。)

「ぱっちわーく」による
楽しいライブショー!! (11:30から)

主催 鶴岡市有機農業推進協議会
後援 鶴岡市 鶴岡市教育委員会 鶴岡市農業委員会 スローフード山形
山形県有機農業者協議会 三川地域有機農業推進協議会
お問合せ/鶴岡市有機農業推進協議会事務局(鶴岡市藤島庁舎産業課エコタウン室内)
TEL 0235-64-5803

参院選で大躍進、安倍政権の暴走にストップ!

4人の市議団で市政をキッパリただし、要求実現!

日本共産党演説会

関とある市議、加藤三引の市議、加藤太三市議、菅井いお農業委員

◎日時 9月11日(水) 午後7時

◎会場 鶴岡市文化会館

入場無料 お誘い合わせてご参加ください。

◎特立 参議院議員、党書記局長代行

山下よしき

主催 日本共産党鶴岡地区委員会 鶴岡市美原町16-5電話0235-22-3313

第2回つるおかオーガニックフェスタが8日、午前11時から午後2時まで、出羽庄内国際村ホールで開かれます。

主催は鶴岡市有機農業推進協議会(志藤正

一会長)で、有機農業による環境にやさしい技術で、安全な農産物を消費者に提供しPRしようと企画されました。

先着順で有機米おにぎりや野菜のプレゼントがあります。小野寺裕さんらのグループ「ぱっちわーく」など楽しいライブショーもあります。

民報藤島900号記念の集い

期日：8月31日(土)午後2時～4時
場所 藤島駅前町内会館
会費 男1,000円 女500円
連絡先：事務局 成田忠一(090-7323-5144)

いよいよ9月14日から鷺畑山古墳発掘へ 9月22日午後 現地発掘調査説明会開く

庄内と日本海側の古墳時代(3世紀末から7世紀)を解明する上で大きな意味を持ち、各方面から大きな期待が寄せられている鷺畑山古墳です。

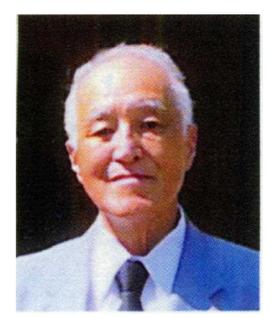


川崎利夫調査会
々長(斎藤茂吉文)

化賞受賞者・写真)ら県内屈指の考古学研究者の指導のもと、東田川文化記念館郷土研究サークル(鈴木隆会長)

を中心に発掘調査が9月14日(月)から23日まで行なわれます。1、4号の古墳が、東堀越から添川への道路沿いにあります。

今回の調査は東堀越に近い一番近い1号古墳を発掘します。発掘作業に支障がないかぎり、見学は自由にできますのでお出で下さいとのこと。なお、9月22日14時から、資料に基づく丁寧な現地発掘調査説明会が開かれます。



「民報藤島」8月18日発行で第910号、「継続は力なり」というありきたりの言い方を超越して、18年間ぶつ通しの長丁場、正に力業(ちからわざ)と表現する他ありませんね。

『新つるおか』は民報の2倍超の1856号ですが、加藤鉦一さんの市議当選に符節を合わせたかのように、従来の1面だけの記事から両面記事になりました。御同慶の至りです。

加藤鉦一さんの市議浪人中の新聞発行は情

「民報藤島」900号記念に寄せて

成澤 功(中町)

報源も狭く並大抵の苦勞ではなかつた筈です。そして発行費は応援者よりのカンパ、よくがんばりましたね。

地域の政治・経済・社会のみならず、大沼浩・工藤博司・石川勝雄・青山崇各氏のエッセイ・俳句なども大変興味深く読ませていただきました。

『民報藤島』の更なる継続発展を祈りながら
2013年 晩夏

教育委員会事務局管理課入札結果 () 内は予定価格
8月22日入札分
・市立藤島中学校ガス管入替工事
森建設工業(株) 1,500,000円 (1,533,000円) 工期~10/31

学校統廃合

「住民合意」から「強行」へ

学校統廃合について、9月議会8月28日の総括質問で榎本市長は、25年度内に結論を得られない地域は、「複式学級解消は喫緊の課題」だとして「次期計画以降も統廃対象になる」「地域合意を前提とした手法を見直し、26年度から次期計画策定に着手する」と述べ、これまでの住民合意尊重から統廃合の強行へ姿勢の転換を示しました。地域と学校を守る市民の願いに、真つ向から挑戦する答弁です。現在、存続に傾いている地域は栄小と福栄小の2校です。

統合の条例提案

合併後初めて小学校の統合の条例が9月議会に提案されます。湯田川・田川・朝陽

第四(し) 小の統合による朝陽第四(よん)小の新設、朝日大泉・大網・朝日小の統合によるあさひ小の新設で、平成26年4月1日(大網小統合は平成28年4月1日) 施行です。

他の地域では、小堅・由良・三瀬小は平成27年4月統合、羽黒四小は統合を決め、羽黒一小は検討途上、温海地域の山戸・五十川小は検討の最終段階、長沼小も検討途上にあります。

子どもと地域

学校統廃合は、子どもの地域における生活空間を奪い、子どもと地域社会の関係を持ちにくくさせます。学校規模が大きくなり教師と子どもの関係も希薄となります。

学校統廃合によって地域の核としての学校を失い、人口流出や地域活動の衰退が心配されます。市の財政にとっても学校がなくなることによる基準財政需要額の減少と交付税削減、地域における雇用と経済へのマイナス、国・県費の教職員が減る影響などが心配されます。

集団的自衛権とは何

―「しんぶん赤旗」を読んで 青山 崇

「集団的自衛権Q&A」連載が、しんぶん赤旗8月16日付から始まった。安倍政権は、歴代政権が「憲法上できない」としてきた集団的自衛権の行使を、年内にも可能にしようとしている。その一歩が内閣法制局長官(内閣の法律顧問)に、次長を昇格させる慣例を破り積極容認の小松駐仏大使を起用したことである。

集団的自衛権とは「自分の国が攻撃されたわけでもないのに、他国の起す戦争への参加を合理化するものです。日本(防衛)とは無関係です。日本の場合

である。

世界の二大大国、旧ソ連と米国が行使してきた。旧ソ連は56年ハングリー、68年チエコなどのへの軍事介入、米国はあのベトナム戦争(64〜75年)、南ベトナム政府の要請によるもので、集団的自衛権の行使にあたるとした。

このようにいずれも軍事同盟を結んだ相手国側からの要請によると説明してきたが、実際は他国への無法な侵略・干渉を合理化する口実にされてきたのである。



ゴリ押し ワガママ

自分が考えていることに賛成する者だけを集めた「有識者会議」と称するところで、集団的自衛権は憲法に違反しないという結論が出たとの報道あり。

▼会議としては当然の帰結でしょうがダ。これはダメでしょ。多数決で反対が多いなら賛成する人を多勢つれてきて採決するようなものだもの。子どもだましにもならない。

▼これで戦後スーツとダメだったことが良いことになるナンテのは戦争直後の教科書が墨塗りされたみたいなことになるぜ。

▼しかも学問は細分化されたところに専門家が多数時代。首をすげ替えて代わりに入った法制局長官は国際法の専門家だという。だから前職が仏大使だという人事は納得できるが。



(画・加藤貞雄)

きりぎりす芭蕉こゝより舟使う

工藤 博司

内川と、金峰・母狩の山波は鶴岡を象徴する山河である。とりわけ内川は、市内の中心部を流れ、市民のくらしにも直結している。藤沢周平さんの小説に登場する「五間川」はこの川であろう。春は花吹雪を浮べ、夏には水中の草を刈る姿を見ることが出来る。山王商店街から鶴岡銀座に入る橋のたもとには、芭蕉が奥の細道の旅の途次に鶴岡で三泊後、陽暦の七月二九日、酒田へ

向うために上舟した地である。今は、知る人も少く、内川の川べりに「芭蕉上船の地」を知らせる標柱が立っている。まわりの草むらでは、そろそろ秋の虫も鳴きはじめる頃で、訪れる人もほとんど少なく、時の流れの速さを知らされる。鶴岡市中の、芭蕉ゆかりの地は、ぜひ一見して欲しいものである。

▼その人が集団的自衛権に賛成だから、日本の法律の番人である法制局長官になるといのは納得できないぜ。

▼国内法の専門家、憲法の専門家が majority というのに、こんなムリなことをするのも勝てば官軍のイキオイか。

▼自分の思い通りにするためにナリフリかまわないゴリ押し。正にワガママそのものに見える。前回首相を止めた時のように、体の具合が悪いからでないといいのだが。

▼俺は知らなかったのだが自分に子どもがないからだろうぜ。自分の子どもや孫が戦争で死ぬ心配はないもの。そんなに戦争がしたいのは、困るじゃないのサ。

▼これでいいのか日本。これでいいのか首相とは。国民が望まない方向に一生懸命だ。憲法・TPP・消費税・給与年金の引き下げ。ETC。(石川)